

Mitaka City Library

三鷹市立図書館

図書館だより

平成27年1-3月号

第14号 平成27年1月30日発行

編集・発行：三鷹市立図書館

三鷹図書館(本館)	上連雀 8-3-3	TEL0422-43-9151
下連雀図書館	下連雀 6-13-13	TEL0422-43-9159
東部図書館	牟礼 5-8-16	TEL0422-49-3851
西部図書館	大沢 2-6-47	TEL0422-33-1311
三鷹駅前図書館	下連雀 3-13-10	TEL0422-71-0035
南部図書館みんなみ	新川 5-14-16	TEL0422-76-5571

開館時間：9:30~17:00

※三鷹図書館は9:30~20:00、土・日・祝日は17:00まで

※三鷹駅前図書館は10:00~20:00、土・日・祝日は17:00まで

休館日：毎週月曜日・第3水曜日

※下連雀図書館は毎週水曜日・第1月曜日・祝日

<http://www.library.mitaka.tokyo.jp>

みんなでこれからを語り合おう 夢見よう

三鷹市立図書館開館50周年記念事業エンディング・イベント

「図書館未来会議」3月28日(土)



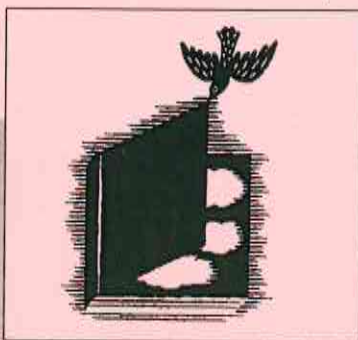
昨年7月に始まった開館50周年記念事業のひとつ、図書館と三鷹ネットワーク大学共催の連続講座「本と図書館をめぐる冒険」の最終回として、これからの図書館について市民が語り合う「図書館未来会議」を開催します。

「どういう図書館をめざすか」「何があるといいか」「地域の中での役割は」などを、みんなで語り合うワークショップ形式のイベントです。図書館の歴史や現状に関するミニ講座、参加者の交流タイムなどもあります。

図書館のこれからのを、楽しくおしゃべりしながら考えましょう。会議で出されたご意見は、これからの図書館の運営の参考としていきます。

- ◆日時 平成27年3月28日(土)
午後1時30分~4時30分
- ◆会場 三鷹ネットワーク大学(JR中央線三鷹駅前)
- ◆内容 ワークショップ、ミニ講座、お茶会
- ◆ファシリテーター 武蔵野美術大学視覚伝達デザイン学科教授・斎藤啓子さん
- ◆対象 三鷹市立図書館に関心のある方どなたでも
- ◆定員 30人
- ◆申し込み方法 2月17日(火)から三鷹図書館(本館)に直接または電話でお申込みください。

決定しました！ 三鷹市立図書館のシンボルマーク



開館50周年を機に行った三鷹市立図書館のシンボルマーク募集には全国から152点の応募がありました。最優秀賞は、三鷹市下連雀在住の石口朋子さんの「想像の世界へいざなってくれる読書」をイメージした作品に決定しました。現在、武蔵野美術大学の新島実教授と視覚伝達デザイン学科の学生たちがこのマークと文字を組み合わせたロゴマークの作成やその活用の方法などを検討中です。お楽しみに！

図書館フェスタ編「50冊」は、推薦コメントつきで三鷹図書館で展示中です。

あなたの
おススメの本を
推薦してください！



文学部門50冊」「絵本・子どもの本部門50冊」 「ずっと図書館に残したい本」大賞

昨年秋の図書館フェスタで発表した「50年後まで図書館に残したい本50冊」に続いて、もっと多くの皆さんに参加していただけるよう、新たに推薦とコメントを募集します。みんなで好きな本について語り合い、これからの地域の図書館について考えることを目的にリストづくりを行います。選定のアドバイザーは編集者・書評家の松田哲夫さんです。詳細は図書館各館内の募集コーナーや三鷹図書館ホームページをご覧ください。

※「みんなで選ぶ50年後まで図書館に残したい本50冊：開館50周年記念図書館フェスタ編」のリストを配布しています。ご希望の方は各館のカウンターでお問い合わせください。



『図書館フェスタ』開催しました

ご来場ありがとうございました！

☆☆☆☆☆☆

10月31日(金)、11月1日(土)の2日間、三鷹図書館(本館)で三鷹市立図書館の開館50周年記念「図書館フェスタ」を開催しました。

ボランティアや図書館サポーターの皆さんが中心となって企画、運営されたこのフェスタは楽しい催しが盛りだくさん。土曜日はあいにくの雨となってしまいましたが、お天気にもかかわらずたくさんの方々にご来場いただき、子どもから大人まで、笑顔があふれる2日間となりました。

どの催しも行列ができるほどの盛況ぶり。図書館サポーターの皆さんも、会場案内やカフェの販売、図書館の秘密探検ツアーのガイド、ワークショップ等で大活躍。また、ふだん人が立ち入らない中庭を使用したガーデンカフェ、手作りキャンドルとジャズ演奏のナイト・カフェも大好評で、今後も中庭を使ったイベントを続けたいという声が多数届いています。

これからも、本や読書を通じた交流の場を企画していきますので、どうぞご期待ください！



本であそぼう 人とつながろう



竹のプラネタリウムでおはなし会



ガーデンカフェ

名探偵はキミだ！ 問題を解いて本棚の本を探せ！



世界一大きな本の絵本

絵本・子どもの本クイズ



みたか一箱古本市

フリーマーケット形式で古本屋さんごっこを楽しみました。



本の修理屋さん実演

修理屋さんが修理した本にはこのシールが貼ってあります！

三鷹市立図書館

この本は図書館サポーター「本の修理屋さん」によって修理されています



ビブリオバトル

昨年6月から月2回ペースで図書館の一室で活動している修理屋さん。今回はぜひ多くの皆さんに見ていただこうと、エントランスホールの一角にコーナーをつくり、修理の実演をしました。専門の道具を使っての作業に興味津々で大勢の方が足を止めて見入っていました。

☆☆☆☆

中学生から大学生までの「みたかとしょかん図書部！」部員たちが、ビブリオバトルの企画から運営まですべてを行いました。観戦者もたくさん集まって審査に参加。大盛況でした。

当日チャンプ本になった本は次のとおりです

【小学生部門】『とんとん拍子』星新一 Y 913.6 ㊦

発表者 石井風雅さん(小学5年生)

(出場した本) 「怪盗クイーンの優雅な休憩」はやみねかおる/「トラちゃん」群ようこ/「どろぼうがない」杉川としひろ

【中学生部門】『植物図鑑』有川浩 B 913.6 ㊦

発表者 海老沢智さん(中学2年生)

(出場した本) 「怖い本一色のない怪談」緑川聖司/「はてしない物語」ミハエル・エンデ/「図書館戦争」有川浩/「万能鑑定士Q」松岡圭祐

【成人部門】『畜犬談』太宰治 913.6 ㊦

発表者 若菜舞香さん(中学2年生)

(出場した本) 「畜犬談」太宰治/「めぐらし屋」堀江敏幸/「満願(『走れメロス』より)」太宰治/「学生時代にやらなくてもいい20のこと」朝井リョウ/「花咲家の人々」村山早紀

音訳ボランティアの皆さんの実演

音訳・対面朗読の体験プログラム



☆☆☆☆

50周年記念事業 報告

11月、12月は、三鷹市立図書館開館50周年記念で、本館、三鷹駅前、西部、東部、南部みんなみの各館で、多くのイベントがありました。その様子をご紹介します。

南部みんなみ 1周年!

語学院留学生によるおはなし会・工作・文化体験、ドキュメンタリー映画『チベット天空の英雄 ケサル大王』の上映会、館内装飾、展示、ガーデニングなど、みんなみサポーター、アジア・アフリカ文化財団、アジア・アフリカ語学院と協働して開催しました。



南部図書館みんなみオリジナルキャラクター“なんと!くん”を作成していただいた絵本作家の石倉ヒロユキさんによる『段ボール版画をつくろう!』では、子どもたちが思い思いのひつじを型取り、版画を作りました。

西部図書館

おおさわ学園読書活動の紹介展示

11月20日(木)～12月5日(金)
七中・羽沢小・大沢台小の児童・生徒の作品を展示しました。

小さなコーナーでしたが、アンケートが100枚以上集まるほどの大盛況でした!紹介された本を借りていく子や、中には1時間ほどじっくり見ていく大人もいました。



三鷹駅前図書館 国会図書館を見に行こう!



普段は立ち入ることのできない地下8階に及ぶ書庫や、そこに保管されている貴重な資料に、参加いただいた方々は興味津々の様子でした。

今回、多数の方にご応募いただいたため、第2弾は定員を倍増して3月17日(火)に開催します。興味のある方はご応募ください(詳細は、後日ホームページなどでご案内します)。

三鷹図書館 おとなが楽しむおはなし会 平成26年11月7日(金)本館 Part1



記念すべき20回目の開催、そして三鷹市立図書館開館50周年、三鷹市文庫連絡会発足40周年の節目にふさわしく、昼の部・夜の部とも、盛況で楽しい会となりました。

東部図書館ほか おとなが楽しむおはなし会 Part2



12月13日の東部図書館など各分館を巡回公演するPart2にも大勢の方々が参加しました。

亀岡亜希子絵本原画展

いま、きせつのおいがしたよ

昨年まで三鷹に住んでいた亀岡亜希子さんの絵本原画展が11月25日～12月25日に行われました。パステルを使った独自の技法で描かれた原画の数々に、多くの方が足をとめてご覧になっていました。

～関連イベント～

①「絵本作家亀岡亜希子さんの読み聞かせと工作」

亀岡さんと一緒に図書館に飾るアドベントカレンダーを作りました。



②「作家によるギャラリートーク」

ゲストに編集者・広瀬薫さんをおむかえし、亀岡さんと共に創作秘話を語って頂きました。

③「パステルをつかってクリスマスカードをつくろう」

普段使うことの少ないパステルで、クリスマスカードを作りました。亀岡さんのアドバイスを聞きながら、夢中になって書いていました。





図書館員おすすめの1冊

『長嶋茂雄最後の日。 - 1974.10.14 - 』

鷲田康著 文藝春秋 2014
7分類(芸術・美術) 783.7

「我が巨人軍は永久に不滅です。」伝説のスピーチを残した長嶋茂雄が現役を退いてから 40 年が経つ。現役にこだわりながらも巨人軍の監督を引き継ぐ宿命を背負った彼が、引退を決意するまでの葛藤、グラウンドでは決して涙を見せなかった彼が、5万人のファンの前で初めて流した感謝の涙。長嶋茂雄を、そして彼の現役時代を知らない人にもおすすめの一冊です。

『アメリカは日本の消費税を許さない』

—通貨戦争で読み解く世界経済—

岩本沙弓著 文藝春秋 2014
3分類(社会科学) 332.1

この本は、著者が30ものアメリカ公文書館を訪ね、大量の段ボール箱のファイルの山から掘り起こし分析したことをまとめた力作です。

この本を読むと、アメリカの歴代の政権が自由の小売売上税とは異なる付加価値税の一種である日本の消費税についてどのように考え、どのように手を打って来たかがよくわかります。

もう一度消費税を考えるには、ぜひ一読をお勧めしたい本です。

図書館地域人財養成講座

ミドル・シニアから始める 絵本の読み聞かせ



退職後や子育て終了後に、地域での活動を考えている方を対象にした初心者講座です。

読み聞かせやブックトークを通して地域での活動を始めてみませんか。受講後もおはなし会などを見学し実践に向けた活動を継続していく予定です。

日時：2月17日(火)、2月24日(火)

2回連続講座

午後1時30分～4時

講師：シニア読み聞かせボランティア「りぶりんと」

インストラクター植田たい子氏

場所：三鷹図書館(本館)2階集会室

対象：おおむね50歳以上の市民 30名

三鷹図書館カウンターまたは電話でお申込みください。

三鷹図書館 0422-43-9151

三鷹駅前図書館は空調工事の為、2月27日(金)まで臨時休館中です。臨時窓口を開設しています。詳しくはホームページをご覧ください。

『K町の奇妙なおとなたち』

斉藤洋作 森田みちよ絵 偕成社 2012
児童9分類(文学) 91サ

たぬきばやしや丑の刻参り、迷路のような商店街…。主人公が振り返る少年期には、少し怖くて奇妙なできごとや周りの大人たちの事情が見え隠れする。人や町、時代が移り変わって、かつてあった不思議も消えてしまうかもしれないが、忘れていただけで本当はどこかにあるかも。懐かしくも不思議な思い出のお話。

『ハンナ・アーレント』

「戦争の世紀」を生きた政治哲学者-』

矢野久美子著 中央公論新社 2014
2分類(新書・歴史) S289.3ア

公開時、話題になった同名の映画を私はまだ見ていない。ドイツ出身のユダヤ人でナチス台頭の時代に国外へ亡命。米国で帰化しそこで亡くなった彼女の生涯を語るこの本は、コンパクトな新書版で手に取りやすい。内容も迫害を受けたユダヤ人といっても決して一括りにできないことが良く解る。哲学に関する本を読みなれない私には、何度も読み返さねばならないところも多々あったが、そこが彼女のことを知るうえで必要であれば、自分なりになんとか理解したいと思わせてくれるほどの魅力が彼女にはある。

地図と写真で迎える三鷹の廃線跡

—旧国鉄武蔵野競技場線—

三鷹図書館(本館) 展示ホールで開催中!

かつて、昭和26年武蔵野市にプロ野球の球場が完成し(現武蔵野中央公園)、三鷹駅と同球場を旧国鉄の茶色の電車が走っていたことをご存じでしょうか。僅か3.2キロの単線区間は通称「武蔵野競技場線」と呼ばれていました。同34年に廃止された路線跡は現在、遊歩道になっていますが、鉄道線路独特のカーブを描いています。

2月27日(金)まで2階展示ホールにて、この路線が記載された古い地図と廃線跡が鮮明な古い航空写真で廃線跡を迎える展示を行っていますのでぜひご覧ください。



次回展示予定

灯の民具 3月3日(火)～3月29日(日)